

令和2年 救助統計



は じ め に

この統計は、天童市において令和2年に救助工作車等が出動した実態を分析し、今後における円滑な救助業務の推進に資するとともに、市民の理解と協力を得るために作成したものです。

	目	次	ページ
	救助事故等の種別・区分に使用される用語について	1
1.	事故種別出動件数	2
2.	月別出動件数	3
3.	曜日別出動件数	4
4.	時間帯別出動件数	4
5.	救助活動により救助した件数・人員	5
6.	活動により使用した資機材	5
7.	救助隊員の訓練実施状況	6
8.	はしご車の訓練実施状況	7

救助事故等の種別・区分に使用される用語について

この統計の用語、分類等については、総務省消防庁の『救急事故等報告書要領』を準用しております。

1. 「火 災」

火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。

2. 「交通事故」

すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

3. 「水難事故」

水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。

4. 「風水害等自然災害事故」

暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害事故をいう。

5. 「機械による事故」

エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアーその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。

6. 「建物等による事故」

建物、門、柵、塀等の建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。

7. 「ガス及び酸欠事故」

一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。

8. 「破裂事故」

火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。

9. 「その他」

1 から 8 に掲げる以外の事故等で、消防機関による救助を必要とした事故をいう。

1 事故種別出動件数

令和2年の救助出動件数は40件で、前年と比べると3件増加となりました。
 出動件数を事故種別ごとにみると、交通事故による出動が18件(45.0%)と最も多く、次いで火災による出動が8件(20.0%)で、合わせると全体の65% (前年比+2.9%) を占めています。

() 内数字は令和元年

事 故 種 別		出 動 件 数
火 災	建 物	3 (4)
	建 物 以 外	5 (3)
交 通 事 故		18 (16)
水 難 事 故		1 (0)
風 水 害 等 自 然 災 害 事 故		1 (0)
機 械 に よ る 事 故		3 (0)
建 物 等 に よ る 事 故		4 (4)
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		0 (0)
破 裂 事 故		0 (0)
そ の 他		5 (10)
合 計		40 (37)

2 月別出動件数

月別の件数をみると、3月が6件(15.0%)と最も多く、次いで5、9月が5件(12.5%)となっています。1件当たりの出動人員は11.7人、出動台数は3.4台となっています。

() 内数字は令和元年

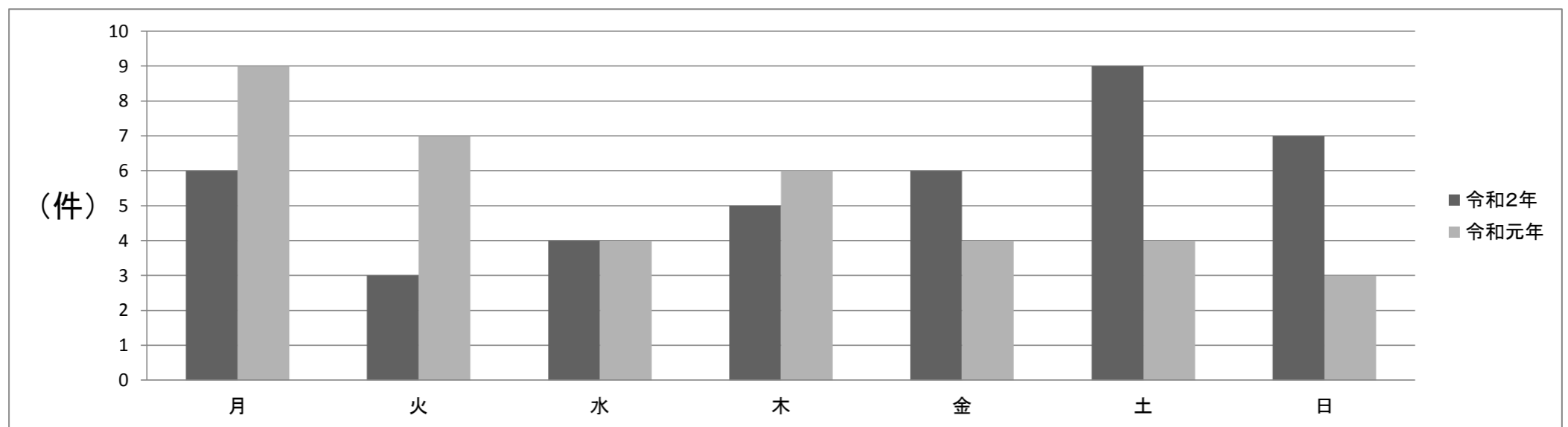
月別	出動件数	事故種別									出動人員	出動台数
		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他		
1	4 (3)	0 (0)	1 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	47 (34)	14 (11)
2	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	14 (8)	4 (3)
3	6 (2)	1 (1)	5 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	75 (30)	22 (8)
4	3 (2)	1 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (25)	10 (7)
5	5 (5)	3 (3)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	87 (73)	21 (21)
6	4 (4)	2 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	48 (53)	13 (16)
7	2 (2)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	15 (21)	4 (6)
8	0 (3)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (36)	0 (11)
9	5 (4)	0 (0)	4 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	56 (26)	18 (8)
10	3 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	34 (0)	11 (0)
11	3 (5)	0 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	22 (72)	7 (20)
12	4 (6)	0 (0)	2 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	37 (67)	12 (18)
合計	40 (37)	8 (7)	18 (16)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	5 (10)	471 (445)	136 (129)

3 曜日別出動件数

出動件数を曜日別にみると、土曜日が9件(22.5%)と最も多く、次いで日曜日が7件(17.5%)、月曜日、金曜日が6件(15.0%)、木曜日が5件(12.5%)、水曜日が4件(10.0%)、火曜日が3件(7.5%)となっています。

() 内数字は令和元年

曜日	月	火	水	木	金	土	日	合計
出動件数	6	3	4	5	6	9	7	40
	(9)	(7)	(4)	(6)	(4)	(4)	(3)	(37)



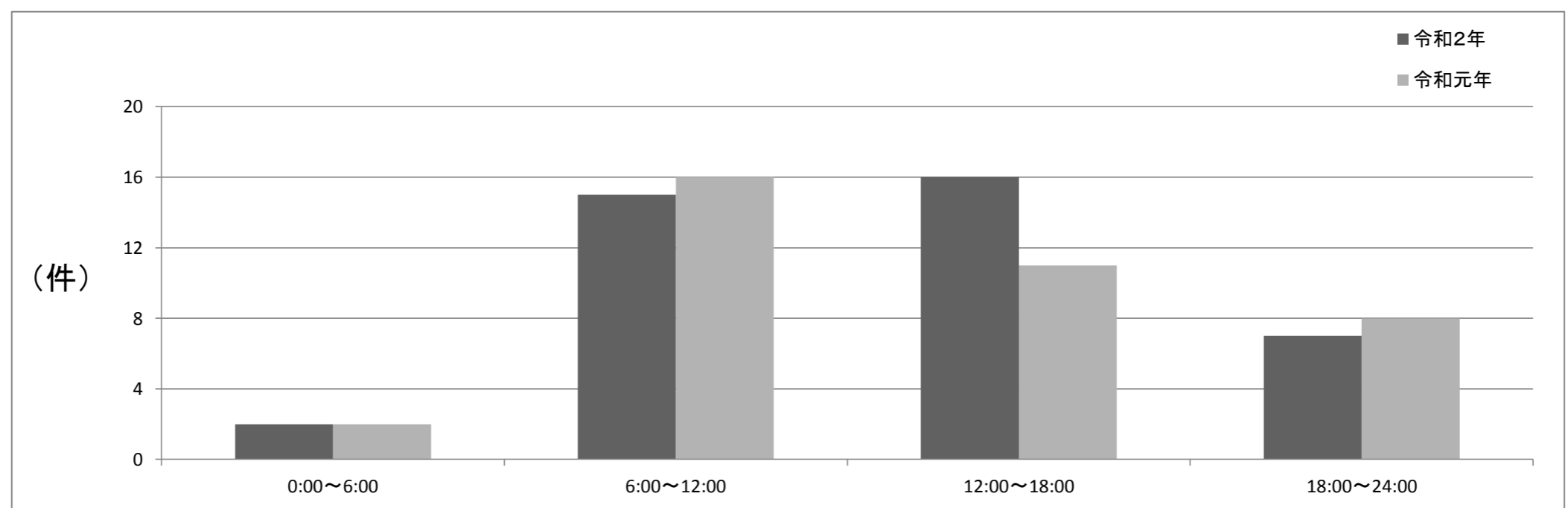
4 時間帯別出動件数

出動件数を時間帯別にみると、12時から18時までの時間帯が最も多く16件(40.0%)発生しています。次いで6時から12時までの15件(37.5%)、18時から24時までの7件(17.5%)、0時から6時までの2件(5.0%)と続きます。

日中の時間帯(6時から18時)の出動が31件と全体の7割以上を占めています。

() 内数字は令和元年

時間帯	0:00~6:00	6:00~12:00	12:00~18:00	18:00~24:00	合計
出動件数	2	15	16	7	40
	(2)	(16)	(11)	(8)	(37)



5 救助活動により救助した件数・人員

出動件数40件のうち、救助活動を実施した件数は13件で全体の32.5%になります。救助した人員は13名でした。

交通事故による救助人員数が最も多く7名で全体の53.8%を占めています。

()内数字は令和元年

事故種別	救助活動件数	救助人員
火災	0 (1)	0 (1)
交通事故	7 (3)	7 (3)
水難事故	1 (0)	1 (0)
風水害等自然災害事故	0 (0)	0 (0)
機械による事故	2 (0)	2 (0)
建物等による事故	2 (2)	2 (2)
ガス及び酸欠事故	0 (0)	0 (0)
破裂事故	0 (0)	0 (0)
その他	1 (3)	1 (3)
合計	13 (9)	13 (9)

6 活動により使用した資機材

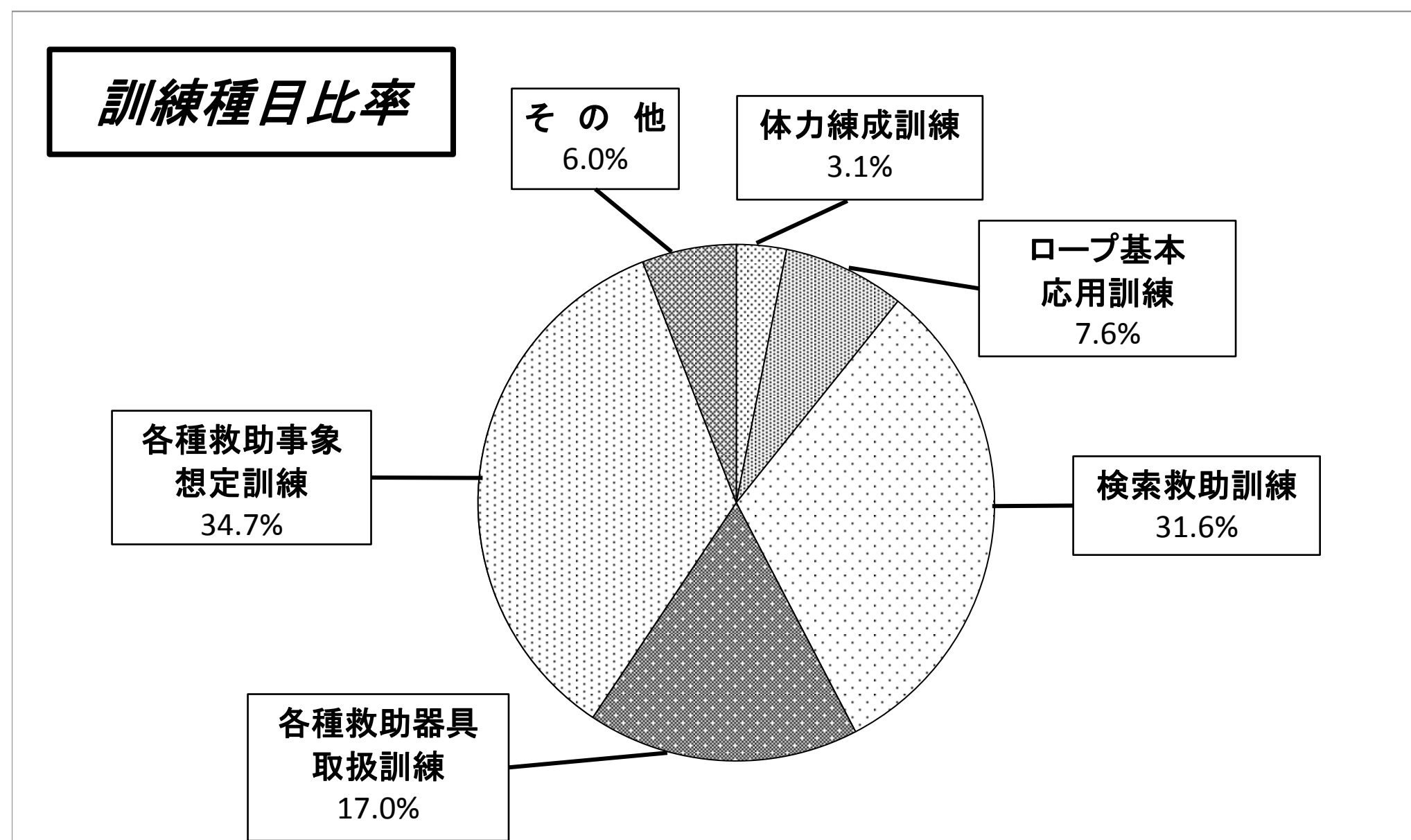
火災出動では、空気呼吸器、熱画像直視装置、信号器付投光器等を使用し、また、交通事故の出動には、ステップチョックやレスキューブロック等の車両固定具を使用しています。

資機材	使用回数	資機材	使用回数
一般救助用		その他の救助器具等	
救助用ロープ	6	工具	8
バスケット担架	1	剣先スコップ	4
三連はしご	1	バール	3
単はしご	1	とび口	3
簡易縛帯	1	レスキューフィルム	2
マルチスリング	1	バキュームリフター	1
滑車	1	信号器付投光器	1
カラビナ	2	レーザーポインター	1
重量物排除用		レスキューシザー	1
ステップチョック	6	その他のその他	
レスキューブロック	4	車輪止め	11
大型油圧救助器具	1	遮蔽幕	6
破壊用		カメラ	6
ガラスソー	2	吸着マット	3
エアソー	1	爪付手袋	2
万能斧	1	ライトアップコーン	2
レスキューマン	1	毛布	2
測定用		布テープ	1
可燃性ガス測定器	1	絶縁テープ	1
呼吸保護用		マグネット付照明	1
空気呼吸器	6	資機材集積用シート	1
高度救助器具		消火器	1
熱画像直視装置	5	敷板	1
水難救助用器具		ジェットシューター	1
救命胴衣	1	立入禁止テープ	1

7 救助隊員の訓練実施状況

救助隊員は、災害が発生した場合に安全・確実・迅速に救助活動が行えるよう、各種救助事象想定訓練を中心に様々な訓練を行っています。

訓練種別	区分	実施回数	実施人員	1回当たり参加人員	実施時間
体力練成訓練		9	67	7.44	9時間25分
ロープ基本、応用訓練		22	139	6.32	40時間45分
検索救助訓練		91	626	6.88	160時間45分
各種救助器具取扱訓練		49	291	5.94	71時間15分
各種救助事象想定訓練		100	849	8.49	161時間10分
その他		17	133	7.82	24時間55分
合計		288	2105	7.36	468時間15分



8 はしご車の訓練実施状況

高層建物で災害が発生した場合に、はしご車を活用して安全・確実・迅速に救助活動が行えるよう、日々点検を行うとともに操作技術の向上に努めています。

区分 訓練種別	実施回数 実延回数	実施人員 実延人員	1回当たり 参加人員	実施時間 実延時間
基本応用操作訓練	14	65	4.64	7時間
防火対象物架梯調査	1	3	3.00	1時間30分
月間点検	5	24	4.80	2時間35分
各種想定訓練	5	20	4.00	2時間50分
見学・展示	13	51	3.92	5時間
点検・その他	295	1123	3.81	126時間10分
合計	333	1286	3.86	145時間5分

